

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	エックス線撮影技術学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	合同校舎撮影実習室
担当教員	米坂聡一郎、中前光宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
診療価値の高い画像を提供するX線撮影を行うため、撮影部位、方向ごとのポジショニングを理解する。また、患者対応や検査説明、X線撮影装置(CR、FPDシステム)の使用方法なども合わせて演習する。本科目は撮影ポジショニングをメインとしてX線撮影法を演習で習得することを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席評価、受講態度(態度・意欲・身だしなみ)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。 ①素点(実技演習、課題レポート):70% ②平常点(受講態度):30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:オーム社「X線撮影技術学」編:安藤英次						
《授業外における学習方法》						
実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を復習し、事前予習しておくこと。 また、実習時間内演習に関するレポートは期日までに必ず提出すること。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習(OSCE)や就職後の臨床現場のルール等は各施設異なるため、本講義がすべてではありません。あくまでも基本ルーチンの撮影方法をレクチャーしつつ、グローバルかつ安全で再現性の高い合理的な撮影法の習得を目指します。時間の許す限り別パターンも交えつつ、臨床実習に向けて口頭で説明した内容は必ずメモを取る習慣を身に付けて下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	本科目の目的と演習内容を確認する。成績評価方法や基準を理解する。演習を受けるにあたっての注意点や授業態度などの説明を行う。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	演習ガイダンス				
第2回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	胸部の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	胸部立位正面・側面。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用法、おおよその撮影条件など。				
第3回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	胸部の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	胸部立位正面・側面。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用法、おおよその撮影条件など。				
第4回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	腹部の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	腹部立位正面・臥位正面。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用法、おおよその撮影条件など。				
第5回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	腹部の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	腹部立位正面・臥位正面。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用法、おおよその撮影条件など。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	頭部の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	頭部正面、側面、(タウン法)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	頭部の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	頭部正面、側面、(タウン法)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	頸椎の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	頸椎正面、側面、(前後屈、斜位、開口位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	頸椎の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	頸椎正面、側面、(前後屈、斜位、開口位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	腰椎の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	腰椎臥位正面、側面、(立位正面、側面、前後屈、斜位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	腰椎の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	腰椎臥位正面、側面、(立位正面、側面、前後屈、斜位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	骨盤、股関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	骨盤正面、股関節臥位正面、ラウエンシュタイン法、(軸位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	骨盤、股関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	骨盤正面、股関節臥位正面、ラウエンシュタイン法、(軸位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	肩関節RoutineA-P、TrueA-P、(スカプラY、軸位、内外旋、ゼロポジション等)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	肩関節RoutineA-P、TrueA-P、(スカプラY、軸位、内外旋、ゼロポジション等)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	エックス線撮影技術学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	合同校舎撮影実習室
担当教員	米坂聡一郎、中前光宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
診療価値の高い画像を提供するX線撮影を行うため、撮影部位、方向ごとのポジショニングを理解する。また、患者対応や検査説明、X線撮影装置(CR、FPDシステム)の使用方法なども合わせて演習する。本科目は撮影ポジショニングをメインとしてX線撮影法を演習で習得することを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席評価、受講態度(態度・意欲・身だしなみ)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。 ①素点(実技演習、課題レポート):70% ②平常点(受講態度):30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:オーム社「X線撮影技術学」編:安藤英次						
《授業外における学習方法》						
実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を復習し、事前予習しておくこと。 また、実習時間内演習に関するレポートは期日までに必ず提出すること。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	上腕、肘関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	上腕骨正面、側面、肘関節正面、側面、(斜位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。				
第17回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	上腕、肘関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	上腕骨正面、側面、肘関節正面、側面、(斜位)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。				
第18回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	前腕、手関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	前腕骨正面、側面、手関節正面、側面、(斜位、手指等)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。				
第19回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	前腕、手関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	前腕骨正面、側面、手関節正面、側面、(斜位、手指等)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。				
第20回 演習実習形式	授業を通じての到達目標	大腿、膝関節の一般X線撮影の撮影方法を演習形式で学ぶ。ポジショニングを理解し、実践する。		教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	大腿骨正面、側面、膝関節正面、側面、(斜位、立位等)。X線中心点や入射角、撮影体位、機器の使用方法、おおよその撮影条件など。				

